

口腔顎顔面外科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授

高野正行 オトガイ形成不全症の機能的評価方法の確立

准教授

渡邊章 口唇裂・口蓋裂の発症原因の追究 顎変形症手術の安全性

講師

成田真人 顎矯正手術における併発症軽減の取り組み
恩田健志 早期に癌化する白板症を生検時に確実に判定し見逃さない
大野啓介 口腔蛍光観察装置における解析ソフトの開発
森川貴迪 口腔がんにおける光学機器を用いた画像解析
吉田秀児 口腔顎顔面における非侵襲デバイスを使用した生体機能解析

助教

重野健一郎 顎変形症患者の顎矯正手術前後における顎関節症状の変化についての検討
関川翔一 口腔癌の化学療法における有効性および有害事象に関する研究
小郷直之 顔面非対称を伴う下顎前突患者の三次元分析と評価
加藤 宏 ヒト iPS 細胞を応用した骨再生療法の確立
有泉高晴 外傷性末梢神経損傷に対する塩基性線維芽細胞増殖因子の効果

レジデント

益田遼 白斑型口腔扁平上皮癌の早期発見のための解析
佐竹杏奈 免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に影響を及ぼす口腔内常在細菌叢の解明
新行内恵 ARONJ 患者における予防および治療評価の検討
岡本雄紀 アロデニア患者の主観的知覚検査、客観的知覚検査と VAS の相違の検討
曾根嘉人 顎変形症手術患者における術前術後の心理学的変化に対する統計学的検討
阿部江美子 口腔蛍光観察装置と画像解析ソフトを用いた客観的評価
村松賢太郎 顎変形症患者 (Le Fort I 型骨切術施行予定) の術前術後の経時的な血流動態の評価
小原身知子 神経修復外来における舌神経修復術 (神経端々縫合) の臨床的検討

大学院生

田中齊 MRN を用いた舌神経損傷の評価
藤川秋 蛍光観察装置を用いた口腔がんの基礎的研究
池谷侑 顎変形症患者 (Le Fort I 型骨切術施行予定) の術前術後の経時的な血流動態の評価
西村仁希 iPS 細胞由来骨芽細胞における骨形成能

2. 成果の概要 (字数のめやすを超えないように願います。400 字を超えた場合は修正をお願いする場合があります。日本語以外の言語での記述はできません)

1) 200 字から 400 字程度

(成果を発表した論文等の情報を末尾に記載)

骨吸収抑制薬 (ARA) 投与歴のある骨粗鬆症患者では、抜歯術の前に、潜在的な ARONJ を呈しているとの報告もあるが、臨床症状や画像所見からの同定は困難である。

蛍光観察では、健全な骨組織では青緑色に蛍光可視が保持される (FVR)。一方、壊死骨部分では、蛍光可視の低下が起こり、暗色を呈する (FVL)。本研究では、骨粗鬆症患者の抜歯術の際に、蛍光観察を用いて ARONJ のスクリーニングの有効性について前向きに検証した。ARA 治療歴のある骨粗鬆症患者で、当科を受診し抜歯術を施行した 60 症例を対象とした。

60 症例のうち、抜歯時の肉眼所見で歯の周囲に色調変化は全症例に認めなかったものの、3 例で ARONJ が発生し、3 例全てに FVL を観察した ($p = 0.001$)。FVR のみの症例では、ARONJ は発生しなかったが、周囲に FVL を認めた症例では、壊死骨が確認され、ARONJ の診断に至った。潜在的

ARONJ に対し、蛍光観察を用いたスクリーニングは有効である可能性が示唆された。

(第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会優秀ポスター発表賞)

小児の顎骨骨折は成人の場合と異なり顎骨や歯が成長発育過程にあるため、その治療方針は十分な配慮が必要とされる。今回、小児顎顔面外傷では典型的ながら治療法として悩ましい、2 歳女児の下顎正中骨体部および両側関節突起部の骨折に対し、非観血的整復固定術と保存的治療を施行した 1 例を経験したので症例報告を行った。近年は外科的治療が注目される中、われわれは古典的な治療法を選択し十分な治療成果を上げた、また本報告は永久歯交換期までの術後 7 年間と長期に及ぶ経過観察を行い、顔面形態や歯列、咬合関係、顎運動機能などの治療効果の判定を行った。改めて保存的治療が小児における顎顔面外傷に対する有効な治療法である可能性を示唆できる報告となった。2 歳女児の下顎骨正中部および関節突起部骨折に対して非観血的整復固定術を施行した 1 例。

重野健一郎, 恩田健志, 高野正行. 歯科学報 122 (4), 427-434, 2023.

2) 200 字から 400 字程度

(成果を発表した論文等の情報を末尾に記載)

1. Sugahara K., Koyama Y., Koyachi M., **Watanabe A.**, Kasahara K., Takano M., and Katakura A. A clinico-statistical study of factors associated with intraoperative bleeding in orthognathic surgery
Maxillofacial plastic and reconstructive surgery, 44: 7, 2022
2. Yoshida S., **Watanabe A.**, Sugahara K., Odaka K., Katakura A., and Takano M. Osteotomy training for dental students using three-dimensional simulation software and maxillofacial three-dimensional-printed models
Journal of dental education, 86: 526-534, 2022
3. 河角 久美子, 森川 泰紀, 有泉 大, 石井 武展, 坂本 輝雄, 西井 康, 吉田 秀児, **渡邊 章**, 成田 真人
片側性唇顎口蓋裂患者における一段階および二段階口蓋形成術による歯・歯列弓形態への影響の比較・検討
日本口蓋裂学会雑誌, 47: 11-19, 2022
4. 尾島 賢治, 檀 知里, 熊谷 友理子, 渡邊 仁資, **渡邊 章**, 菅原 準二, Nanda Ravindra
ライナー矯正治療における開咬の治療レベル別アプローチ(前編)
Journal of Aligner Orthodontics 日本版, 1:67-83, 2022
5. 尾島 賢治, 檀 知里, 熊谷 友理子, 渡邊 仁資, **渡邊 章**, 菅原 準二, Nanda Ravindra
ライナー矯正治療における開咬の治療レベル別アプローチ(後編)
Journal of Aligner Orthodontics 日本版, 2:77-93, 2022
6. Ono K., Hamada Y., **Watanabe A.**, Yoshida S., Kato H., Kogou N., Kasahara K., Sugahara K., Nishiyama A., Hoshino T., Ichikawa Y., Takahashi H., Takaku Y., Chujo T., Nakajima K., kokubun K., Matsuzaka K., Shibahara T., Katakura A., and Takano M. A case of primary intraosseous squamous cell carcinoma of the maxilla that developed from a dentigerous cyst containing a supernumerary impacted tooth
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 34:322-328, 2022
7. 松田 祐明, 中島 一憲, 大野 啓介, **渡邊 章**, 武田 友孝, 高野 正行
BP 製剤服用経験者の下顎頭骨折に対し、下顎枝矢状分割術のバイトプレートの製作・術前後に補綴処置した症例
スポーツ歯学, 25: 59-60, 2022
8. Yoshida S., **Watanabe A.**, Akashi Y., Matsuzaka K., and Takano M. A case of myoepithelioma in the upper lip.
Oral and Maxillofacial Surgery Case, 9:1-5, 2023
<https://doi.org/10.1016/j.omsc.2022.100288>

9. **Watanabe A.**, Yoshida S., Kato H., Ariizumi T., and Takano M.

Practical Orthognathic Surgery Approach to the Old Bilateral Mandibular Condylar Head Fractures

Journal of Surgery, 8:1-7, 2023 <https://doi.org/10.29011/2575-9760.001707>

9. **渡邊 章**、柴野正康、吉田秀児、加藤 宏、高野正行

歯学の進歩・現状 顎骨疾患プロジェクトからの情報発信 口唇裂・口蓋裂の原因遺伝子の追究
歯科学報, 122:431-435, 2023

10. **渡邊 章**

治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 構音障害（解説）
日本医事新報, 5100:47-48, 2022

11. **渡邊 章**

治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 不正咬合（解説）
日本医事新報, 5108:47-48, 2022

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
渡邊章	口唇裂・口蓋裂の原因の追究	長崎大学	長崎	吉浦孝一郎

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費 科研費の場合は種別も記載
渡邊章	次世代シーケンサー解析を基盤とした口唇裂・口蓋裂の発症原因の追究	基盤研究 (C) 4, 420 (千円)

5. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
新行内恵	2022年11月6日	優秀ポスター発表賞	蛍光観察によるARONJのスクリーニングの前向き研究	日本口腔外科学会

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
成田真人	2022.10.28	Management of major complications in two-jaw surgery	The 61st Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons	Daegu, South Korea

高野正行	2022	顎変形症治療の現在と歯科医師の役割	第 314 回東京歯科大学学会(総会)	千代田区
渡邊章	2022/5/26-28	Approach to future of orthognathic surgery in Tokyo Dental College	ACOMS 2022	韓国

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演 題	学会名	開催地
渡邊章	2022/11/3-30	我々の顎矯正手術における現状と新たな取り組み	日本口腔外科学会	千葉 Web

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

	講演者	年月日	演 題	会合の名称	開催地
	関川翔一	2022. 5. 28	口腔がんに必要な基本知識 口腔内を診察する	市川市歯科医師会 OCDCIN ベーシックコース	市川市
	成田真人	2022. 6. 4	安全確実な手術を目指すためのこだわりポイント	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 OGS ウェビナー	オンライン
	成田真人	2023. 2. 24	気管気管支軟化症を有する顎矯正治療の対応について	第 7 回 冬期口腔外科臨床研究会	山形
	関川翔一	2022. 9. 5	口腔癌治療アップデート	市川市歯科医師会 OCDCIN アドバンスコース	市川市
	吉田秀児	2022. 6. 9	顎矯正手術における術中、術後トラブルを予防するためのプレート選択	第 3 2 回日本顎変形症学会総会・学術大会 アフタヌーンセミナー	新潟
	吉田秀児	2022. 12. 3-4	IBRA Basic-intermediate / Fellow Course	IBRA セミナー	横浜
	高野正行	2022. 3. 7	DePuy Synthes The Webinar	顎変形症と RapidSorb	オンライン
	渡邊章	2022. 12. 2-4	Surgery first - surgical aspects	International Bone Research Association	横浜

	渡邊章	2022. 12. 2-4	Precautions when selecting the material to be fixed in mandible (Ti or Absorb)	International Bone Research Association	横浜
	渡邊章	2022. 12. 2-4	Aesthetic procedures in orthognathic surgery	International Bone Research Association	横浜

6. 教育に関する業績、活動

教育に関する講演（医学・歯学における教育をテーマとするものに限る）

講演者	年月日	演 題	学会・研究会・会議名	開催地
渡邊章	2023. 2. 4-5	Post-CCPX 評価者認定講習会	TF	東京
	2023. 3. 19	第2回モデル OSCE	TF	東京

教育ワークショップ・FD 研修

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
成田真人	2022. 10. 21~23	令和4年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会（第1回）	講義	東京

共用試験

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
加藤宏	2023. 2. 26	第4学年共用試験 OSCE	評価者	東京都千代田区
大野啓介	2023. 2. 26	第4学年共用試験 OSCE	評価者	東京都千代田区
吉田秀児	2023. 2. 26	第4学年共用試験 OSCE	評価者	東京都千代田区
有泉高晴	2023. 2. 26	第4学年共用試験 OSCE	機材係	東京都千代田区
渡邊章	2022. 7. 15-16	OSCE	外部評価者	仙台
渡邊章	2023. 2. 25-26	OSCE	課題責任者	東京

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義・実習

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
高野正行	2023. 1. 20	顎変形症とは何か	新潟大学	オンライン

学会等に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
加藤宏	2023. 3. 9	顔面非対称について考える	第 21 回東京歯科大学外 科的矯正治療勉強会	東京都 千代田区
高野正行	2023. 2. 20	口腔内のまれな疾患	千葉市口腔がんスクリ ーニング研究会	オンライ ン
高野正行	2022. 12. 3	IBRA セミナー How to treat transversal deficiencies in the upper jaw	IBRA	神奈川県 横浜市
高野正行	2023. 1. 15	粘膜病変と口腔がんをどう見 分けるか	埼玉県口腔がん検査診 断講習会	オンライ ン
高野正行	2022. 12. 4	IBRA セミナー Important aspects for 2D and 3D planning in orthognathic surgery	IBRA	神奈川県 横浜市
高野正行	2022. 12. 7		千葉市口腔がん検診症 例検討会	オンライ ン
高野正行	2022. 3. 24	口腔がんのを見つけ方	千葉市口腔がん検診報 告会	オンライ ン
高野正行	2022. 2. 5	日本歯科医学会連合 医療事 故調査制度研修会	院内調査のすすめ方	東京

高野正行	2022. 3. 2	千葉市個別型口腔がん検診	千葉市スクリーニング研究会	オンライン
渡邊章	2022. 8. 23	我々の顎矯正手術における最新の取り組み	日本メディカルネクスト株式会社口腔外科研修会	東京